

## 2号機使用済燃料プール内から回収した異物に関する調査結果等について

平成 25 年 8 月 23 日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

### 1. 事象の発生状況

冷温停止中の2号機において、平成25年7月4日より、使用済燃料プール内にある使用済燃料貯蔵ラックの点検作業を行っていたところ、7月8日午前11時48分頃、使用済燃料上部にS字状の異物らしきものがあることを当社社員が確認しました。

当該のS字状の異物らしきものについては、7月11日午前10時頃回収し、午後1時10分、S字状の金属（ステンレス製、大きさ約26mm、太さ約1.5mm）（以下、「異物」）であることを確認しました。

（平成25年7月11日までにお知らせ済み）

### 2. 調査結果

調査の結果、以下のことがわかりました。

- ・異物が確認された燃料の過去の定期検査時（燃料取替に伴う確認作業時）の映像記録（3回分、平成5年の第7回定期検査、平成6年の第8回定期検査、平成15年の第15回定期検査）を確認したところ、平成5年には同様の異物らしきものは確認されなかったが、平成6年ならびに平成15年には同様の異物らしきものが確認されたこと。
- ・当該の異物はステンレス製の針金状の金属であると考えており、定期検査の作業等で使用する設備（天井クレーン、燃料取替機、作業台車）には使用していないこと。
- ・過去に行われた定期検査の作業等で使用した資機材としてステンレス製の針金状の金属が持ち込まれた可能性はあるが、特定できないこと。

なお、使用済燃料プールについては、平成16年4月以降、異物混入防止対策\*を強化しています。

### 3. 推定原因

混入時期については、過去の燃料取替に伴う確認作業時の映像記録を確認した結果、異物混入防止対策を強化した平成16年4月より以前の平成5年の定期検査から平成6年の定期検査の間に使用済燃料プールへ混入したものと推定しました。

また、混入経路については、定期検査の作業等で使用する設備に当該異物のようなステンレス製の針金状の金属は使用しておらず、特定はできませんが、過去の定期検査の作業等で使用した資機材として持ち込まれた可能性があり、使用済燃料プール上部から混入したものと推定しました。

#### 4. 対策

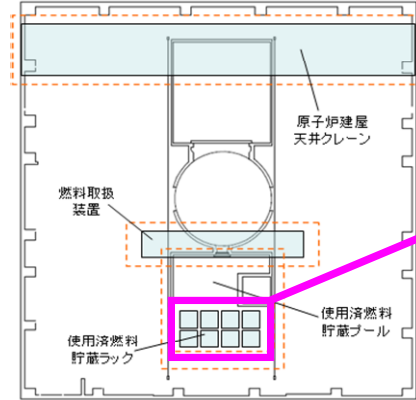
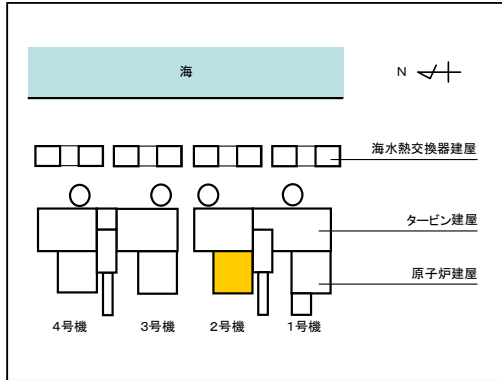
引き続き、異物混入防止対策を徹底してまいります。

以 上

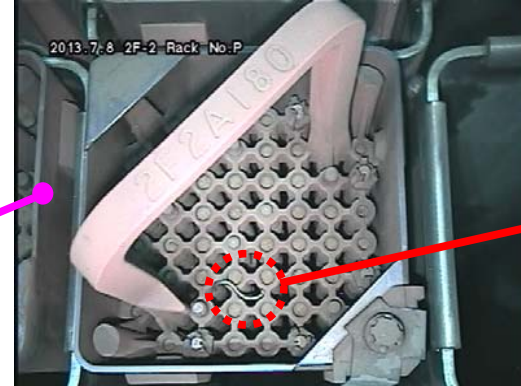
#### \* 異物混入防止対策

持込物品の制限や員数管理を行うとともに、専任監視員を配置するなどして、原子炉等への異物混入を防止する取り組み。

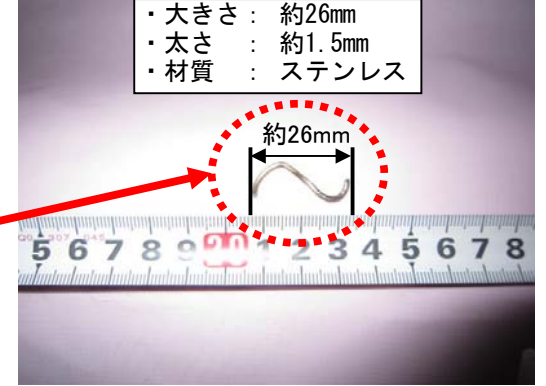
## 2号機使用済燃料プール内から回収した異物に関する調査結果



2号機原子炉建屋6階



平成25年7月8日  
異物らしきものを発見



平成25年7月11日  
回収した異物

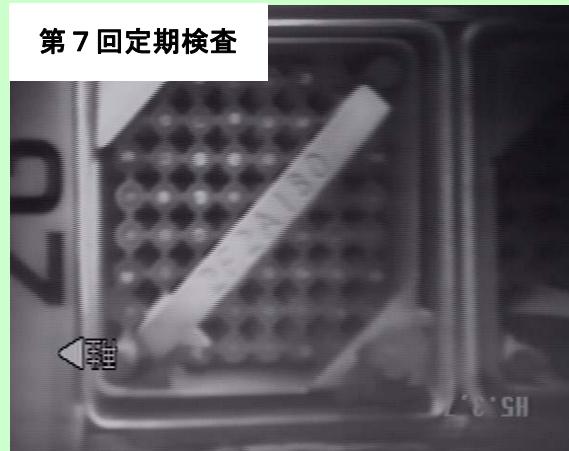
- ・ 大きさ : 約26mm
- ・ 太さ : 約1.5mm
- ・ 材質 : ステンレス

## 過去の使用済燃料プール内映像記録 確認結果

異物が確認された過去の定期検査時（燃料取替に伴う確認作業時）の映像記録（3回分）を確認した結果、当該異物については、平成5年の第7回定期検査から平成6年の第8回定期検査の間に混入したものと推定しました。

### <確認結果>

- ・ 平成5年（第7回定期検査） : 異物無し
- ・ 平成6年（第8回定期検査） : 異物有り
- ・ 平成15年（第15回定期検査） : 異物有り



平成5年3月7日撮影  
異物らしきもの無し



平成6年5月10日撮影  
異物らしきもの有り